

秋水会だより

平成 28 年 11 月議会報告

秋田市議会 秋水会
〒010-0951
秋田市山王一丁目1番1号

補正予算の可決

昨年 11 月 28 日に開会した定例議会において、最終日の 12 月 20 日に国の経済対策事業にかかる補正予算を可決・決定しました。主な内容として教育委員会関係の 5 事業に総額 1,584 百万円をあて、小中学校の改造や改修を行います。

事業 1

中学校大規模改造 284 百万円
泉中学校

事業 2

中学校施設等改修 47 百万円
城東中学校、太平中学校

事業 3

小学校大規模改造 877 百万円
広面小学校、旭川小学校
仁井田小学校、外旭川小学校

事業 4

小学校施設等改修 165 百万円
泉小学校、東小学校、明德小学校
高清水小学校、太平小学校

事業 5

小学校トイレ環境改善 210 百万円
金足西小学校、桜小学校
太平小学校

多くの小中学校において老朽化による改造・改修が望まれていましたが、今回の補正予算可決により今春から上記各校で順次着工いたします。他にも改修等が必要な学校がありますので、引き続き計画的な学校施設の改修等に取り組んでまいります。



28 年 12 月 7 日 一般質問の概要

[質問]泉・外旭川新駅(仮称)の整備について

同駅を泉地区のまちづくり拠点施設ととらえて、早急に実現すべきと考えるがどうか

[答弁]新駅の設置は、鉄道とバスの交通結節によるフィーダー機能(注)の充実を図ることにより、当該地区をはじめ周辺部も含めた地域住民の移動手段の選択肢拡大に繋がるものであります。また、アクセス機能強化による都市活動や市民生活の質の向上が図られるほか、地域のにぎわい創出への波及効果も期待されることから、同駅の実現に向け、取り組んでまいります。

(注)フィーダー機能=幹線の鉄道と接続して支線の役割を受け持つバス路線のこと

[質問]本市の今後のまちづくりについて

今後のまちづくりに欠かせない小中学校の適正配置は、修繕対応の観点からもその検討は急務であると考えているがどうか

[答弁]本市における学校の適正配置は、一義的には、児童・生徒にとって望ましい教育環境を将来にわたって確保する観点から進めるものであり、本市学校教育にとって極めて重要なテーマ



であることから、市民の皆様と課題を共有し、十分にご理解をいただきながら進めてまいります。なお、学校施設の修繕については、緊急性等を考慮しながら進めてきたところであり、今後も計画的に実施してまいります。

秋水会へのご意見・ご要望は

〒010-0951 秋田市山王一丁目1番1号

電話 018-866-2193 ホームページ <http://www.syusukai.jp>

あなたと市政の『かけはし』に

28年12月7日 一般質問の概要



[質問]市長の政治姿勢について

今後の市政運営に対する思いと3期目に向かう決意はどうか

[市長答弁]喫緊の最重要課題である人口減少に対しては、今後も長期的な視点に立ち、さらなる対策に取り組んでいく必要があります。今年度スタートした新・県都『あきた』成長プランの

もと、5つの成長戦略、「地域産業の振興と雇用の創出」、「芸術・文化・観光による都市の魅力向上」、「豊かな自然をいかした環境立市の確立」、「子どもを生み育てやすい社会づくり」、「いきいきと暮らせる健康長寿社会づくり」を実行・実現するため、引き続き市政の舵取り役を担わせていただきたいと思います。この度、来春の市長選挙への出馬を決意いたしました。

[質問] 市職員の意識改革等について

執務時間内における庁舎内のコンビニ利用や職員間のあいさつなど、職員のマナーの向上を図る必要があると考えますがどうか

[答弁]職員のコンビニ利用については、昼の窓口業務に従事する職員や、外部との折衝などにより、休憩時間がずれてしまう職員などが、通常とは異なる時間に利用する場合があります。こうした職員がコンビニを利用する際には、市民から誤解を受けることが無いよう、社会通念上、節度ある利用にとどめるよう、周知徹底してまいります。職員間のあいさつは職場の風通しを良くし、活気ある職場づくりに欠かせないものであります。また、来庁者へのあいさつは、当該職員のみならず、本市の接遇の第一印象を左右するものであります。明るいあいさつは、スムーズなコミュニケーションの入り口ですので、より良い組織づくり、より良い市民対応の基本として研修や職場の上司からの指導等を通じて、あいさつの励行を改めて促してまいります。



[質問] 本市の今後のまちづくりについて

多核集約型コンパクトシティを本市が目指すまちづくりの方向性とする間は、市街化調整区域の変更は行わないとの理解でよいか

[答弁]本市では、人口現象や少子高齢化といった社会状況を見据え、第6次秋田市総合都市計画において、現在の市街地内で蓄積してきたインフラや都市機能を活かした多核集約型のコンパクトシティ形成を図ることとしております。そのためには、市街地の拡大を抑制した上で、核となる都心・中心市街地と6つの地域中心の求心力を高めていくことが重要であると考えており、今後もコンパクトシティ形成を目指していく中では、居住や都市機能の拡散につながる市街化調整区域の変更は行わない考えであります。

安井まさひろ 昭和37年1月1日生

昭和60年3月 慶応義塾大学商学部卒

昭和60年4月 秋田銀行入行

平成26年末 同行退職

平成27年4月 市議会議員初当選

市議会総務常任委員会所属

泉学区町内会連合会顧問

泉語らいの家運営委員会顧問

泉学区体育協会理事 ほか

安井まさひろオフィシャルウェブ

サイトは、こちらから ↓

